
ヤバサイ！

佐藤顕

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ヤバサイ！

【Nコード】

N7331N

【作者名】

佐藤顕

【あらすじ】

現在、19歳、ゲーヲタ、求職中の丹野九実は、ついに念願の宝物をゲットした。それは「オモイノハトバ」という名のゲームソフトだった。

九実は「オモイノハトバ」の中で幾人もの男と出逢い、恋に落ち、やがてそのテンションは現実世界まで飛び火していく。

SNSサイトで知り合った腐女子仲間、生意気なギャル系妹、ライバル的存在のどこぞの令嬢、そして九実に忍び寄る謎のイケメン男子などなど、あらゆるものを巻き込んだ、ドタバタ・シニール・

コメディ？

数日前に台風何号かが過ぎ去ったあたりから、日差しがいくらか柔らかくなつた気がして、ようやく夏も終わりかという感懐に溺れてみたくなる。母の飼っているスズムシのオーケストラを聞くのもそう長くはないと思うと、清々しいような、どこかもの悲しいような。でも私の胸の高鳴りと、スズムシの鳴き声は、いま完璧と聞いていほどシンクロしているはずだ。妹のような、こう言っちゃなんだがいまどきのギャル成分たつぷりの女子ならば、「やばい」と脊髄反射的に叫んでいるところかもしれない。私も負けてはいられなかった。

19年間生きてきて、一度も声にして発したことのない言葉を、発すべきときがきたのだ。それがいまなのだ。

うさん臭い中国の武闘家のように、大きく息を吸う。

「ファックエリアス！」

叫んだ瞬間、ちょうど廊下を通りゆく、同じ階の桜庭さんというおばさんが、開放している窓越しから一瞥をくれた。私は頭の芯ごとと上気し、さつきまでさらっさらだった額に汗が噴き出す。しかもあまりに興奮していたせいで、「やばい」と言つたつもりが、意味不明の言葉を発してしまつていた。なんだ、ファックエリアスつてなぜそのような言葉を口走つてしまつたのか、自分でもよくわからない。ポカリ派だからだろうか……。でもそんなことはもはやどうでもよかつた。心臓が早鐘を打つ。

この日をどれほど待ち侘びたことか。不況と高卒のダブルパンチで就職どころかバイトすらありつけなかつたが、彼氏を作るどころか男と話すこともままならない有り様であるが、地べたに置きっぱなしにした眼鏡を何度踏んでしまおうが、この日を無事に迎えることができただけでも満足だ。全部チャラ。

私はいい感じに日焼けした佐川のお兄さんが届けてくれた、小さ

な段ボール箱から荒々しく、財宝を取り出した。その財宝を、私はなぜだか蛍光灯に向けて高々と掲げた。当たり前だがとても眩しかった。

「オモイノハトバ」それが財宝の名前だった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7331n/>

ヤバサイ！

2010年10月9日03時05分発行